

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成27年度第7回 理事会 議事録

開催日時：平成 28 年 1 月 22 日（金曜日）14：30-17：00

開催場所：神戸ポートピアホテル 南館 B 1 階 ルビー

出席した理事：持田 譲治（理事長）、田口 敏彦（副理事長）、紺野 慎一（専務理事）、吉田 宗人（専務理事）小森 博達（常務理事）、山崎 正志（常務理事）、井口 哲弘、岩崎 幹季、竹下 克志、根尾 昌志、橋本 友幸、長谷川 徹、波呂 浩孝、平林 茂、平泉 裕、松山 幸弘

出席した監事：小西 宏昭（監事）、松永 俊二（監事）

以上、理事 16 名、監事 2 名

決議事項

1. 評議員数について

小森理事が、他学会の評議員数について調査した結果を提示した。

人数の規定についての決定、ならびにこのたびの評議員選考の最終決定を、次回の理事会に持ち越すこととなった。

2. 英文誌編集委員会新設の件

平林理事が、英文誌編集委員会のメンバーについて、持田理事長と検討の結果 9 名の委員をリストアップしたとして、メンバー一覧を提示し、承認された。また、平林理事が委員会のアドバイザーとなることも承認された。

3. 2017 JOA シンポジウムについて

小森理事が、理事会メンバーから演者とタイトルなどを提案してもらい、Eメールでの理事会で決定してはどうかと提案し、一同賛成・了解した。

4. マイナンバーの運用について

小森理事が、当学会でのマイナンバーの運用について、顧問税理士の石原先生と事務局と検討した結果を説明した。

一同、今後の謝金等の支払におけるマイナンバー取得の流れが確認し、了解した。また「特定個人情報の保護に関する基本方針」とした基本文案について査収し、承認した。

5. （一社）日本医療安全調査機構への社員加入・（一社）医療安全全国共同行動への正会員入会について

持田理事長が、（一社）日本医療安全調査機構への社員加入・（一社）医療安全全国共同行動への正会員入会について発議した。

一同検討の結果、日本医療安全調査機構への社員加入を承認し、医療安全全国共同行動への正会員入会は保留とした。

6. 社会保険委員会からの提案について

平泉理事が、厚労省や中医協による保険改訂作業ではデータの蓄積が重要視されているため、今後当学会でもデータを保持していく必要があると発議した。

保険改定に利用するデータ蓄積のためのアンケート等は積極的に進めていくこと、学会誌『JSR』へも優先度が高い要望技術について掲載していくことが承認された。委員会の任期やメンバーについては、新理事会にて検討することになった。

審議・報告事項

1. SAS と NASS とのトラベリングフェロー交換について

松山理事が、SAS・NASS とのトラベリングフェローの交換について、地道に先方と交渉していくと説明した上で、フェローの送り先として中国は多くの症例があるため希望されるケースが多いと報告した。

2. 専門医制度作業部会報告

波呂理事が、昨年 8 月 21 日に行われた日本専門医機構（以下、機構）のヒアリングでは、指導者も専門医になってもらうというスタンスに機構側の考え方が変わったことを説明した。

国民が理解しやすいような数値化された何か（症例や試験結果）が必要とされており、そのための問題集も今年の 3 月上旬までには出版できる予定であると報告した。

3. 指導医認定結果報告

橋本理事が、平成 27 年度指導医審査について、委員会での審査結果を提示した。

4. その他

・新技術評価検証委員会からの報告

岩崎理事が、新技術評価検証委員会にて進めていた側方腰椎椎体間固定（LLIF）の合併症調査について、4 月の当学会学術集会にて発表予定の抄録を提示した。

・学術集会プログラム等検討委員会からの報告

根尾理事が、第 44 回学術集会の決算内容について説明した。約 2800 万円の黒字となりすでに学会本体へ資金を戻していることや、公認会計士の監査も完了していることなどを報告し理事会の承認を求めた。一同検討の結果、承認した。

以下の事前決議事項については、事前決議の結果が報告され、承認された。

事前決議事項

1. 9-12月の入退会の件
承認した。

2. 「山梨大学大村基金のお願い」の諾否
否とした。

3. 学術集会規定変更の諾否
諾とした。

以下の事前審議・報告事項についての資料を一同査収した。

事前審議・報告事項

1. E理事会の結果報告

以上

平成28年1月22日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 持田 讓 治

監事 小西 宏 昭

監事 松永 俊 二